2003 年度 委員会活動成果報告

（2004 年　3 月　5 日作成）

委員会名	CAD と環境心理 WG	主 査 名：中村芳樹
所属本委員会 **（所属運営委員会）**	環境工学委員会（環境心理生理小委員会）	主査名：讃井純一郎
設　置　期　間	2003 年　4 月　　～　2005 年　3　月	
設　置　目　的 **各年度活動計画**	CAD の現状の理解をするための調査を行い、CAD の専門的な知識を持った講師を中心にしたシンポジウムを開催する。	
委員構成 **（委員名（所属））**	松原斎樹（京都府立大学）、渡辺秀俊（文化女子大学）、秋田剛（東京電機大学）、大山能永（大成建設）、望月菜穂子（竹中工務店）、宗方淳（東京大学）、鈴木広隆（大阪府立大学）、添田昌志（東京工業大学）、熊澤貴之（岡山県立大学）、青木宏文（東京工業大学）	
設置 WG **（WG 名：目的）**		
2003 **年度予算**	円	

項　　目	**自己評価**
委員会活動状況 **（開催日・参加人数）**	第 1 回　2003/5/27（火）・ 6 名 第 2 回　2003/12/1（月）・ 6 名 第 3 回　2004/1/15（木）・ 6 名
得られた成果	**（成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無）** 環境心理の知見と CAD データとの関係を整理することを目的に、メールを用いた定常的な議論を重ね、「CAD データを用いて、居住者の視点、環境内での行動をシミュレートすることにより環境を評価する」という具体的な目標を設定し、その可能性、必要な入出力の条件を整理した。また、このような合意を受けて、新たに 3 名の委員を追加し、さまざまな切り口からのシミュレーションが可能となるようにした。
目標の達成度	**（当初の活動計画と得られた成果との関係）** **CAD と環境心理研究の成果との関係について、十分な知見が整理された点は十分目的が達成できたと考えられる。また、シンポジウムの実施には至らなかったが、その為の準備はできているので、ほぼ目標は達成できていると判断する。**
その他評価すべき事項	